

出会い in 杉村病院

第10号

発行：医療法人杉村会
杉村病院診療情報室
発行人：院長補佐 中本博子
〒860-0811
熊本市本荘3丁目7-18
Tel：096-372-3322
Fax：096-371-0886
<http://sugimurakai.jp/index.html>



「副院長就任」の「挨拶」

杉村病院 副院長 藤田 博



この度平成二十年一月一日付で杉村病院の副院長を拝命する事になりました。ここ数年、介護・医療行政の変化につれて、医療情勢が厳しさを増しており、地域医療の崩壊さえ危惧されています。この大変な時期に副院長職に就く責務の重大さを考えますと、若輩の私にとっては強い緊張感とともに戸惑いを感じます。今、私がすべきことは、吉村院長の指示・指導のもと、また病院スタッフの支援を頂きながら、病院の経営理念である「地域の人々の健康を守り、地域の人々から愛さ

れ、社会に貢献できる病院づくり」を実施すべく、コツコツ、精一杯努力する事と肝に銘じています。厳しい時代ではありますが、医療情勢がどんなに変遷しようとも、医療と介護は人間社会生活において必要不可欠なものであり、消え去ることとはありません。病める人、介護が必要な人はどんな時代にも常に存在し、支援を必要としています。常に医療は継続されるもので、医療人の心が時代によってぶれることは無いと思います。「目の前の苦しんでいる患者さんを何とかして救いたい」「健康を取り戻して社会復帰の手助けをしたい」

「介護の必要な方に、求められる最良の支援をしてあげたい」 「随終に際しては、一人の患者様の人としての『安らかな死』が全うされるよう尽くしたい」 そうしたごく当たり前の気持ちを實現させられるよう、自分の持てる全てをもって精一杯尽くしていくことが、医療の原点であり、本来の病院の姿だと思っています。また、誠実な医療の心を持ち続けることと同時に、時勢に合わせて医療の質を向上させていくことも重要です。日々進歩する医療を常に勉強して吸収し、提供していくこと。情報管理、病診連携、1

略歴
熊本大学医学部卒
熊本大学大学院医学研究科卒
医学博士
熊本大学附属病院第二外科
熊本赤十字病院
平成十五年より杉村病院勤務
日本外科学会専門医・日本消化器病学会専門医・麻酔科標榜医

基本理念
地域の人々の健康を守り
地域の人々から愛され
社会に貢献できる病院を
目指します

- 基本方針**
1. 信頼される医療人となる為 常に研鑽を積むことを惜しみません
 2. 心のこもった適正な医療サービスを提供します
 3. 十分な説明をし 同意を得るための努力を惜みず 患者さまが医療に主体的に参加できるように体制づくりに励みます
 4. 患者さまのプライバシーを守り 個人の尊厳が保たれるように努力します
 5. 患者さまを看させて 戴く事に感謝の心を忘れません

よろしくお願ひします!

新入職員紹介

平成十九年十二月十日に
入られた方の紹介です

上田 靖仁さん

准看護師 6病棟勤務



十二月十日より、6病棟で御世話になっております。すでに三ヶ月が経ちましたが、師長(副看護部長)をはじめ、スタッフの皆様にも慣れてきたのではないかと思います。しかし、何分、未熟者ですので、皆様、ご指導の程、宜しくお願ひ致します。

外来受診に予約制を導入



当院では患者様の診察までの待ち時間を少しでも短縮し、来院にともなう患者様やご家族のご負担をできるだけ軽くして差し上げたいと考え、本年一月より、毎週水曜日の内科担当・松村剛先生の診察に限って、外来予約制を導入致しました。

患者様には今までと同じように診察を受けて頂きます。診察終了後、松村先生と話し合っただけの受診の日付と時間を決めていただき、予約表を作りまします。予約表は、診療費をお支払い頂く際に、受付で領収書と一緒に患者様にお手渡しされますので、次回の来院の際、お持ち頂いて受付にお出し下さるようお願い致します。

今回の外来予約制の導入は、当院では初めての試みです。診察状況の全体を把握することで、患者様の利便性の向上に繋がりたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。

予約制の開始後、患者様より「朝早くから順番を待ってなくてよいし、ゆっくり出来る」「仕事時間が不規則だから、時間を決められては困る」「急病の時に松村先生に診て欲しい時は診察してくれないの?」など様々な御意見を頂戴してまいります。予約制について、御質問や御意見、御要望などございましたら、遠慮なく当院へお寄せ下さい。

杉村病院のデータ

平成20年1月

- 外来患者数

初診	414人
再診	870人
小学生未満小児科	94人
合計	1378人

- 平均在院日数 35日

- 入院・退院(人)

	入院	退院
自宅	19	20
他の病院	8	1
他の施設	5	1
老健施設のぞみ	3	3



RKK女子駅伝に出場!

二月十一日RKK女子駅伝が、今年も華やかに開催されました。

杉村病院からも二チーム参加、頭にそれぞれ赤と黄色のフリフリのリボンをつけて、真剣に走りました。今年も、各選手とも仕事や家庭や健康上の事情でなかなか練習ができず、半ばぶっつけ本番ながらも、皆よく粘り、最後までタスクを繋ぐことができました。爽快な汗を流した後は恒例の打ち上げ。目印のリボンは思ったより地味だった、来年はもっと目立つ衣装にしては...などの会話で盛り上がりました。





5病棟です！



5病棟は医療型療養病棟で、ベッド数三十九床を有します。高齢の患者様が多く、医療度・介護度共に高く、スタッフにとっては精神的、肉体的にハードな病棟です。しかし、患者様の些細な反応やご家族の笑顔を見るだけで、心癒される私達です。これからも心温まる看護を提供できるよう、頑張っていきたいと思っております。(谷川友美)

スタッフ紹介

(ホッとする瞬間)

谷川 友美

(師長・看護師)

帰宅時、猫のミユウちゃん、毎日出迎えてくれる姿を見た時。



乗原 智恵美

(主任・看護師)

只今子育ての真っ最中です。仕事に家事にと悪戦苦闘しています。イライラする事も多々ありますが、子供の笑顔を見るとホッとします。癒されます。



野中 真澄(看護師)

晴天の日に洗濯物を沢山干す時。



西 増美(看護師)

事故に遭わず、家にとどり着いた瞬間。



佐川 裕子(看護師)

寝床に入り、韓流ドラマが見れると思える時。



白石 智子(看護師)

一日が終わり眠れる時です。



平川 幸子(准看護師)

熱いお風呂に入浴剤を入れゆつくり温まること。



片山 豊美(准看護師)

一日の仕事が終わって帰る時。



昼食の介助



朝の申し送り

松岡 幸子(准看護師)

子供を寝かせ、ビールを飲む時。



福本 義弘(准看護師)

深夜勤務が終わった時です。



石本 朋巳(准看護師)

実習が終わり、病院勤務にもどれた時です。



工藤 タ子(准看護師)

深夜明けに映画館に行き、ぶっ続けで二本観ること。



中村 まゆみ(准看護師)

仕事が無事終了し、明日が休日だと思える時。



井樋口 千浪(准看護師)

子供がやっとな眠ってくれた時。



益崎 美代子(介護士)

仕事を終えて帰路につく時。休日前夜のひと時。



村元 恵子(介護士)

休日に孫の世話をしたり、カラオケに行っている時。



園田 持久(介護士)

釣りに出かけ狙いの魚が釣れクーラーに魚を入れる時。



宮崎 和代(介護士)

仕事が終わわり、家に帰り着いた時。



後藤 仁志(介護士)

ストーブの前で暖まっている時。



山本 由美(介護士)

休みの日に家で一人でのんびりとお茶してる時。





お世話になっていきます



アクアつかさクリニック 院長 藤本 英司先生

Q 週に三日、外来の患者様を診ながら訪問診療にも力をいれていらっしゃる。アクアつかさクリニックの藤本英司先生に今回はインタビュー。これから、在宅部門に取り組んでいく杉村病院としては、いろいろと教えて頂きたいという思いで行って参りました。

A 杉村病院が協力医になつております。くわのみ荘特別養護老人ホームの嘱託医でもいらつしやいます。在宅医療に取組んでいこうと思われたきっかけは？

A 老人医療、在宅医療にとっても興味があったというところでしょうか。

機能病院、熊本整形外科、再春荘などと病診連携を組み、在宅酸素もやっています。でも、支援診療所だけでは、上手くいかない部分もあります。病院との病診連携は不可欠です。

Q 他の勉強会で聞いた意見ですが、在宅の患者が悪くなった時に、サッと受け入れて欲しいというところでしょうか？

A そうですね。病院も空きベッドを作っておくのは大変でしょうが、いつでも受け入れてくれる病院があれば助かります。

Q 杉村病院では、在宅医療を受けている患者様が、必要な時いつでも入院できるような態勢づくりを進めています。在宅で治療を続けていらつしやる患者様のお役に立つことが、医療に携わる者の大きな使命だと思っておりますが？

A 助かります。そういうことが保険にも報いられるよう、医師会を通じて、微力ながら応援させていただきます。

Q 最後に、先生のストレス解消法を教えてくださいませんか？

A メタボリック予防のため、週一〜二回、スポーツジムに通っています。他は、大学時代から続けているウインドーサーフィンに時々行きます。それと、最近バンドを組んで、年に何回かですが、練習しています。ギター担当です。ヴォーカル募集中です。

アクアつかさクリニックのアクアは、ウインドーサーフィンを愛する「海」から取っているのと、先生から頂いた名刺はきれいなアクア色でした。藤本先生、これからもよろしく願います。

「のぞみ」に新施設長就任



杉村病院併設介護老人保健施設「のぞみ」の施設長が、平成十九年十二月、森田浩一郎先生から菊岡實先生にバトンタッチされました。

森田先生が、病気療養に入られるため退任され、新施設長として菊岡先生をお迎えしました。菊岡先生は、長年精神保

健指定医として、特に認知症介護の現場を歩んでこられた方です。

二〇〇八年は、菊岡施設長の新しい風を更なる力として「今」を生きるゲストのアメニティーを追求し、充実した楽しい生活の実現に、一層努力の年にしたと思っています。

編集後記

☆二月のある日東へ向かう道路を運転していたら、ハンドルの向こうに白銀に輝く雪嶺が見え、とても綺麗でした。☆また今年には梅があとこちで早く咲き、長い期間紅梅、白梅を染しめました。☆日本列島が冷凍庫に入ったような寒い日が続き雪が上がりましたが、寒波からのプレゼントもちやんと用意されている事に気付かされたのでした。☆もう春の入り口☆少しづつ寒さは和らぎ、春の彩りが増えていきます。☆隠れている春を探しに外へ出掛けてみませんか！

伊藤裕子

